



# 令和2年度(2020年度)中学生チャレンジテスト(1・2年生) 豊中市の結果概要

令和3年(2021年)3月 豊中市教育委員会

## ●調査の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力を把握することで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育に生かす。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習の到達状況を正しく知ることにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- 大阪府教育委員会は、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。

## ●調査の対象学年

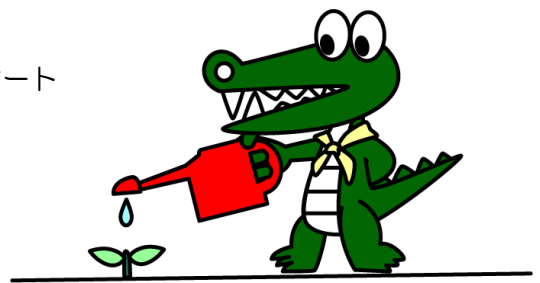
- 府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部、府立中学校及び支援学校中学部の第1学年、第2学年の生徒

## ●調査の内容

- 第1学年：国語、数学、英語、生徒アンケート
- 第2学年：国語、社会、数学、理科、英語、生徒アンケート
- 出題形式：選択式、短答式、記述式
- 調査時間：1教科あたり45分

## ●1月13日(水)に調査を実施した生徒数

- 第1学年：豊中市 2,956人 大阪府 61,885人
- 第2学年：豊中市 2,902人 大阪府 61,171人



### 生徒のみなさんへ

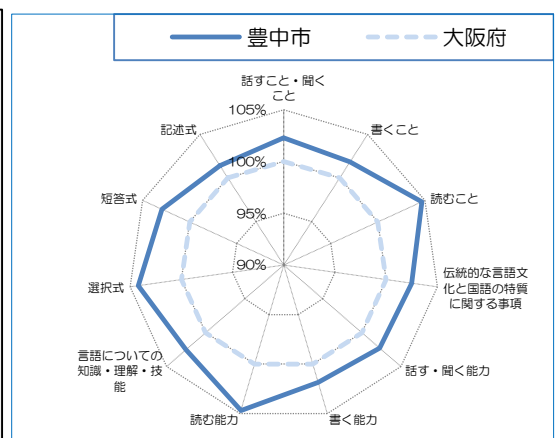
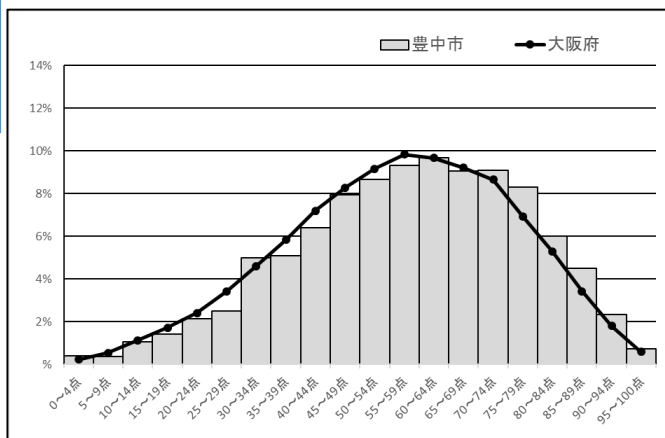
生徒のみなさんには、自分の結果について書かれたプリントが配られていますので、この結果概要と合わせて見てください。

この調査は、学習のゴールではなくスタートです。自分自身の学校・家庭での学習を振り返り、目標を持って、これからの学習計画を立てて取り組んでください。

## 第1学年の結果概要(国語・数学・英語)

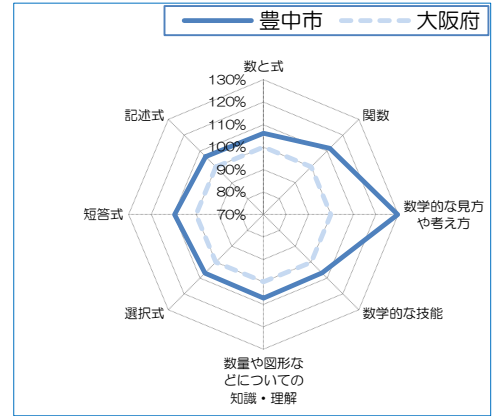
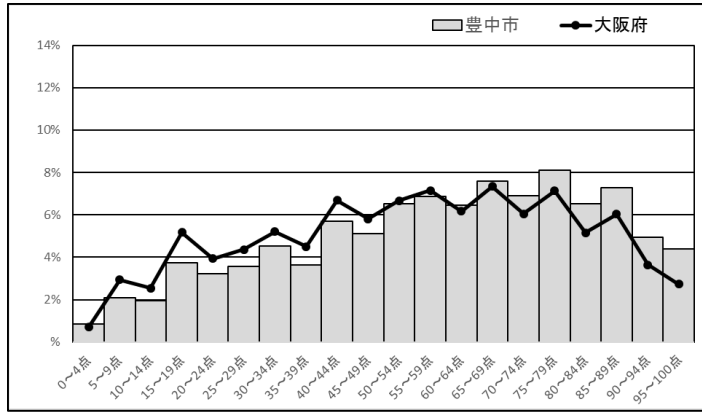
### 第1学年 国語

※軸の目盛は  
グラフにより  
異なります。



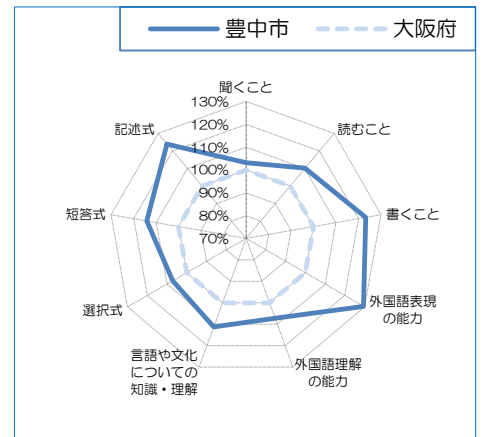
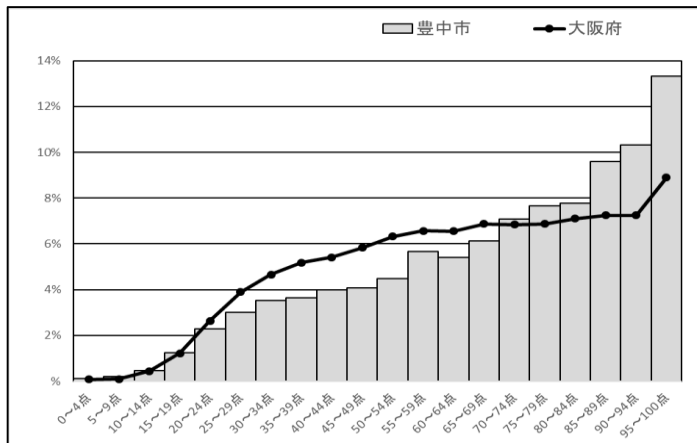
- 文字の配列や配置を考慮して書く、聞き手を意識し、表現を工夫して話す、文章の中での接続詞の働きについて理解することを問う問題は、正答率が高く、概ね良好です。
- 日常生活の中から課題を決め、伝えたい事実や事柄について整理して書く、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てることに課題が見られます。

## 第1学年 数学



- 負の数の減法ができる、簡単な一次方程式を解く、等式の性質を使って方程式を解く意味を理解していることを問う問題は、正答率が高く、概ね良好です。
- 素因数分解の意味を理解する、比例の特徴と座標の意味を理解して具体的な事象について考える、具体的な事象の中の数量の関係を捉え、文字式の意味を説明することに課題が見られます。

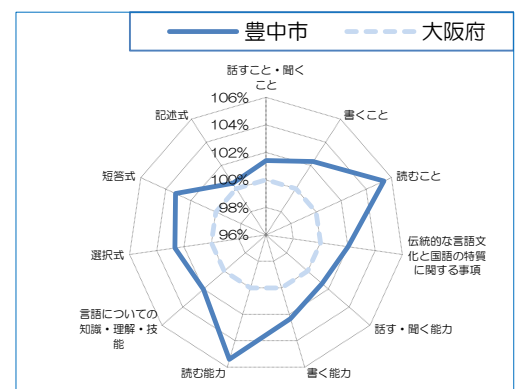
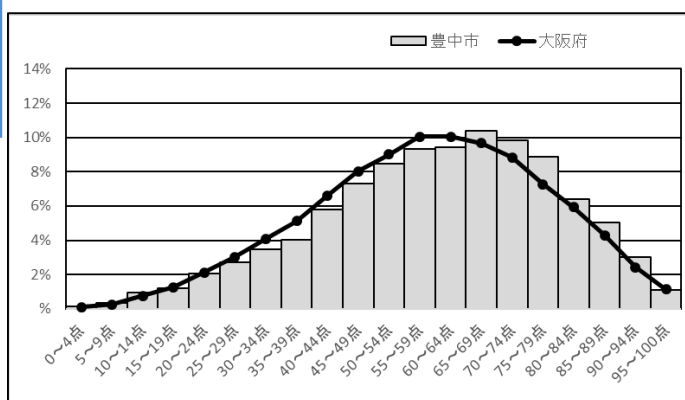
## 第1学年 英語



- 絵を見て英文を聞き内容に合うイラストを選択する、短い会話を聞き会話の続きとして適切なものを選択する、会話を聞き内容を理解し、要点を適切に把握することを問う問題は、正答率が高く、概ね良好です。
- 案内と会話文を読み内容を把握し理解する、手紙文を読み内容を把握し理解することに課題が見られます。

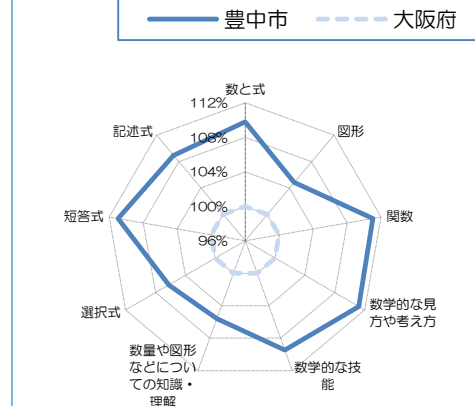
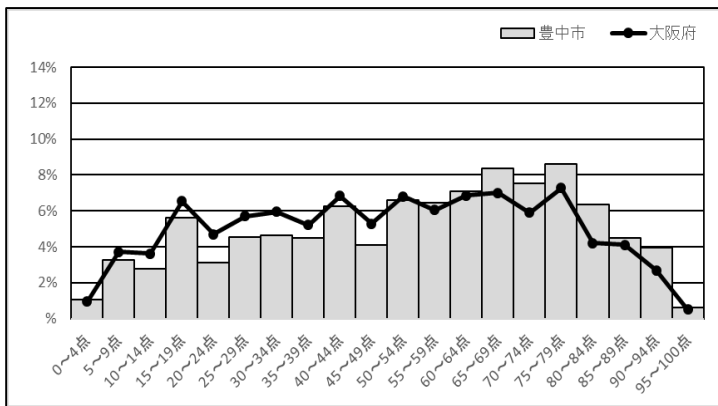
## 第2学年の結果概要(国語・数学・英語・理科・社会)

### 第2学年 国語



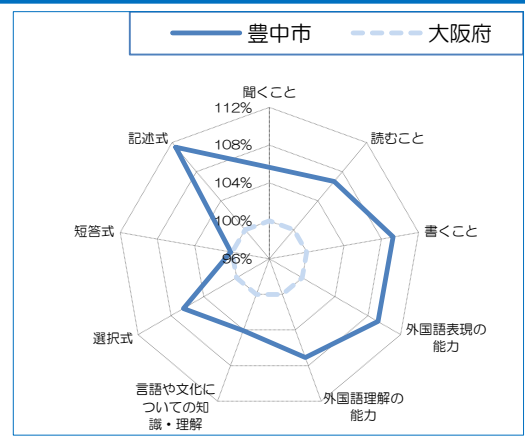
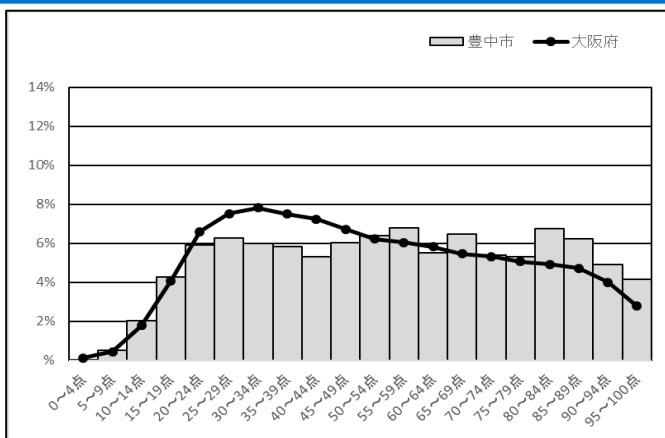
- 文脈に即して漢字を正しく読む、語句の意味を理解し文脈の中で適切に使う、話し合いの話題や方向をとらえ、的確に話すことを問う問題は正答率が高く、概ね良好です。
- 相手に効果的に伝わるように具体例を加えたり描写を工夫したりして書く、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることに課題が見られます。

## 第2学年 数学



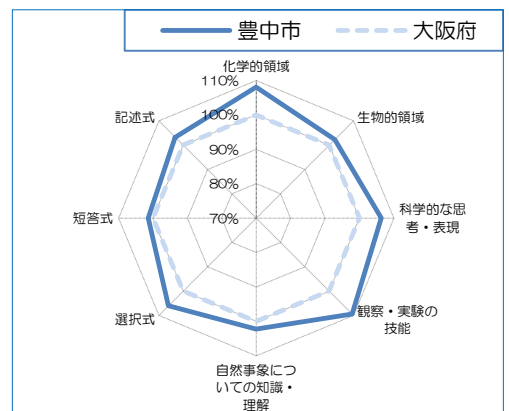
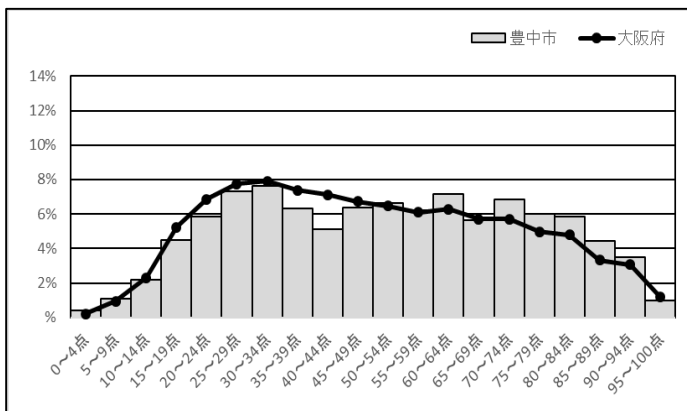
- 整式の加法と減法の計算ができる、簡単な連立二元一次方程式を解く、三角形の外角とそれに隣り合わない2つの内角の和の関係を理解していることを問う問題は正答率が高く、概ね良好です。
- 同位角の意味を理解する、2直線の交点の座標を求め、通る2点から直線の傾きを求める、与えられた図表から必要な情報を適切に取り取り、事象を数学的に解釈することに課題が見られます。

## 第2学年 英語



- 短い会話を聞き応答文として適切なものを理解している、ポスターを読みスタッフの説明を聞いて内容を理解し要点を適切に把握している、会話文を読み内容を理解していることを問う問題は、正答率が高く、概ね良好です。
- 会話の流れを理解し、指定された語数で適切な英語を入れて会話を完成させる、スピーチを読み、内容を理解することに課題が見られます。

## 第2学年 理科

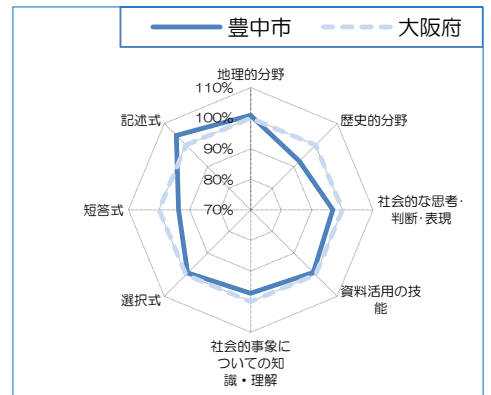
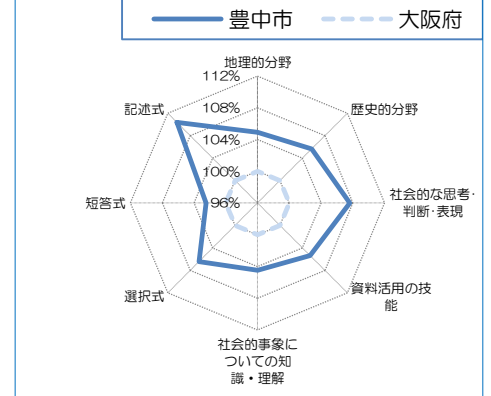
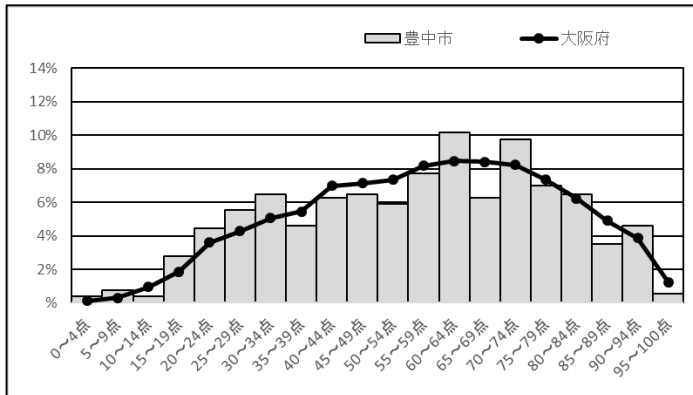
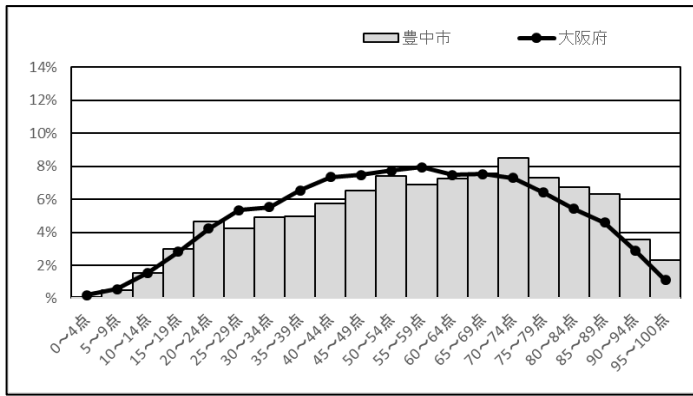


- セキツイ動物をホニュウ類とそれ以外のグループに分ける特徴について理解している、物質が酸化される時、質量がどのように変化するかを理解していることを問う問題は、正答率が高く、概ね良好です。
- コメツキカワウソとアメリカビーバーの目のつき方の違いから草食動物と肉食動物の視野の違いを表現する、ベネジクト液に対する反応を調べる際の必要な操作や注意点を理解することに課題が見られます。

A

第2学年  
社会

B



## 選択A・B

- 選択A・Bとも、原爆ドームについて理解している、人口ピラミッドの変化から、高齢者の割合が増加し、過疎化が進んでいることを読み取る、資料から読み取れる内容を杉田玄白と結びつけて考えることを問う問題は、正答率が高く、概ね良好です。
- 選択A・Bとも、中国・四国地方の人口の特色を表から読み取る、石見銀山、生野銀山について理解する、国学について理解することに課題が見られます。

生徒アンケート結果	第1学年		第2学年	
	豊中市	大阪府	豊中市	大阪府
授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。	83.3	84.5	84.3	85.1
授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。	80.9	82.6	84.2	85.3
授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。	82.3	79.0	82.1	79.9
授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。	49.5	45.9	64.8	51.4
授業中、間違っても笑われない。	77.3	77.5	77.1	79.0
自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。	57.7	53.1	52.8	49.3
テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。	82.2	79.0	79.1	79.4
普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。（2時間以上）	51.4	60.1	56.9	66.1

※この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。